

# 6 スリーク座付ナット M12×38

- 座掘り機能 (切り刃) が付いているため、座金の締め付けと共に材を削り、座金を材にフラットに納めることができます。
- 専用ビットのギヤビットが付いています (座金 50 個につき 1 個同梱)。
- 座掘りにより生じる木材の断面欠損を最小限に抑えることができます。
- 専用の締め付け工具のギヤビットが座金に空いている孔 (ギヤ形状) を確実につかみ、安定した締め付け作業が行えます。



クロメート品 (SZN-38)



デュラルコート品 (SZN-38D)



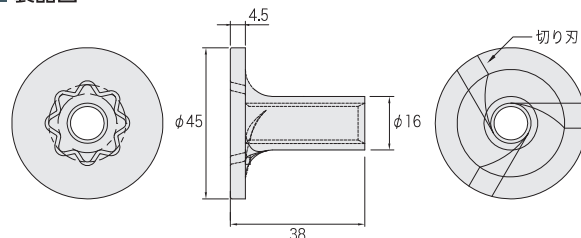
### ギヤビット M12 用

※六角ソケット 19mm 幅  
座金 50 個毎に 1 個付き。  
※ギヤビットのみの販売もごさいます。  
(詳しくは P.189 をご覧ください)

### 専用座掘錐

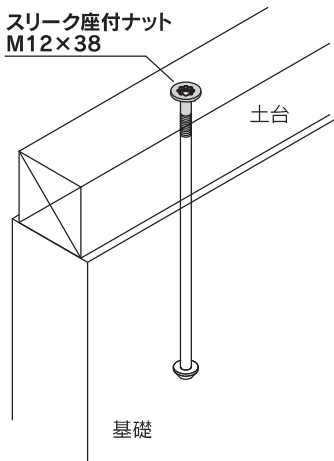
(詳しくは P.190 をご覧ください)

### 製品図



### 取付図

#### スリーク座付ナット M12×38



#### 推奨機種 (一例)

HIKOKI  
インパクトレンチ  
WR14VE



### 施工例



### 短期許容めり込み耐力 (単位: kN)

樹種		
べいまつ類	ひのき類	すぎ類
8.3	7.2	5.5

(注) 座金のめり込み耐力の算出方法は、国土交通省告示第1024号第1の1のイの規定によるものと、座面種の算出方法は、公益財団法人日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (2017年版)」による。

### 注意点

- 座金の耐力を発揮する為、土台および横架材のボルト孔はφ18で加工することを推奨いたします。
- ナット部分のねじ掛かりは最低 15mm 以上を確保してください。
- アンカーボルトはねじ部が土台上端から飛び出さないよう、設置用治具等を使用して適当な長さで埋め込むようにしてください。
- 座掘り加工が深くなる場合には、土台の曲げ応力などを十分に検討し施工してください。
- 施工の際、あらかじめ座金をアンカーボルトに手で 3 山程度掛けてください。
- 掛かりの少ない場合、ねじ山を破損する恐れがあります。
- 木材によっては座掘りがしにくい場合もありますので、ご注意ください。
- 専用の締め付け工具のギヤビット M12 用をご使用ください。

### スリーク座付ナット M12×38

商品コード	規格・寸法	入数	設計価格	記号
1010033011	M12 用	200 個/ケース	170 円/個	SZN-38
2010033011	M12 用	200 個/ケース	190 円/個	SZN-38D

### ギヤビット M12 用 (別売品)

商品コード	規格・寸法	入数	設計価格	記号
1010253012	M12 用	1 個	500 円	GB-12

材質	JIS G 3507-2 SWRCH6A 相当
表面処理	クロメート JIS H 8610 Ep-Fe/Zn8/CM2 デュラルコート
試験機関	(一財) 建材試験センター 第10A0629号



### 座金の短期許容めり込み耐力表

商品名	使用ボルト径	Image	短期許容耐力 (kN)		
			あかまつ、くろまつ、ダフリカからまつ、サザンパイン、べいまつ、ラワン	ひのき、ひば、からまつ、べいひ	つが、アラスカイエローシデー、ペにまつ、ラジアタパイン、べいつが、もみ、とどまつ、えぞまつ、べいもみ、スプルース、ロツジポールパイン、ボンデローサパイン、オウシュウアカマツ、すぎ、べいすぎ
			Fcv:9.0N/mm <sup>2</sup>	Fcv:7.8N/mm <sup>2</sup>	Fcv:6.0N/mm <sup>2</sup>
インパクト座金	M12		9.6	8.3	6.4
ハイスプリング角座金	M12		9.6	8.3	6.4
ハイスプリング丸座金	M12		9.5	8.2	6.3
トリニティープロテクション座金	M12		9.5	8.2	6.3
ゴム座金 PT-Z	M12		9.5	8.2	6.3
ハイブリッドII丸座金	M12	 <small>クロメート品 デュラルコート品</small>	7.7	6.7	5.1
スリーク座付ナット M12×38	M12	 <small>クロメート品 デュラルコート品</small>	8.3	7.2	5.5
ポアリード座金 M12φ49	M12		10.03	8.69	6.69
ハイブリッドII丸座金 (M16用)	M16		12.8	11.1	8.5
ギヤ座金 M12φ69	M12		21.77	18.87	14.51
ギヤ座金 M16-105×80	M16		38.4	33.28	25.43
バネ付角座金	M12		9.6	8.3	6.4
バネ付丸座金	M12		9.5	8.2	6.3
トリニティー丸座金	M12		9.5	8.2	6.3
丸座金 4.5×φ45	M12		9.5	8.2	6.3
ハイブリッドIII丸座金 (M12用)	M12		8.3	7.2	5.5
ハイブリッドIII丸座金 (M16用)	M16		7.2	6.2	4.8
15kN (60φ) スパイクザボルト	M16		15.7	13.6	10.5
20kN (68φ) スパイクザボルト	M16		20.5	17.8	13.7
高耐力用角座金 M16×88×95	M16		50.1	43.4	33.4
高耐力用角座金 M16×88×150	M16		79.2	68.6	52.8

(注) 座金のめり込み耐力の算出方法は、国土交通省告示第1024号第1の1のイの規定によるとともに、座面積の算出方法は、公益財団法人日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (2017年版)」による。

算出方法 1. 金物の座面積 (接地面積) の算出

2. 短期許容めり込み耐力の算出

$$1\text{mm}^2\text{当りの短期基準めり込み耐力} = \frac{2F_{cv}}{3} \quad (\text{N/mm}^2) \quad F_{cv}: \text{各樹種による基準強度 (N/mm}^2)$$